

「城上小学校の太鼓踊り伝承活動の取組」

1 学校名

薩摩川内市立城上小学校

2 学年・人数

小学3年生から6年生の希望者

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

平成28年7月24日～8月5日 城上地区コミュニティセンター
平成28年8月5日(金) 発表前の練習(城上小学校校庭)

(2) 発表の日時・場所

平成28年8月7日(日) 第1回城上小学校校庭
第2回児美神社奉納(児美神社)
第3回旧吉川小学校校庭

4 伝承活動に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

(1) 名称

太鼓踊り(たいこおどり)

(2) 由来

高城の地頭「重雄」父子3人の霊を鎮めるために高城神社が建立された。毎年7月10日に例祭を行い、神霊の慰安・冥福を祈り、踊りを奉納したと言われている。太鼓踊りは、昭和11年から中断したらしい。しかし、昭和60年に城上公連会で城上郷土芸能(雨乞いや五穀豊穰を願う行事)として残すことに決定した。昭和61年に城上校区全体から踊り手を出すことになった。現在は、太鼓踊り保存会が中心となって、中間集落に伝わった「ヅシ楽」が踊られている。

《参考》

地頭「重雄」は、度々の合戦で負傷し、地頭職を務めることが困難となって湯田村へ隠棲した。

(3) 構成等

平成12年8月の踊り手は30人であった。年々参加人数が減り、今年度の踊り手は23人であった。太鼓踊りの楽器については、踊り手の人数で決まる。平成28年度は、大太鼓14・唐太鼓(からてこ)3・親鉦1・入鉦1・鉦5であった。

大太鼓の服装は、白装束、白襦袢、襟は黒布、黒帯、白足袋、草履履きである。背中に素麺幣(ソーメンペ)状に、6尺のコサン竹に幅20cmの障子紙を20本くらい括る。その上に造花を付け、頂上に羽根毛を5、6本付ける。頭には豆絞りの鉢巻きを締める。

鉦の服装は、白いステテコ、白襦袢、半袖の半纏、赤い帯、脚絆、白足袋、草履、花笠である。

唐太鼓の服装は、襦袢、帷子(カタビラ)、黒帯、青襷、白足袋、紙草履、花笠である。

5 保存会や地域との連携

例年太鼓踊り保存会が各自治会へ依頼し、参加者を募っている。しかし、児童数の減少や少年団活動との行事等が重なり、参加者は年々減っていく状況である。これまで参加する条件が小学4年生以上であったが、条件を緩和し、小学3年生からも可能とした。また、教職員が踊り手として参加することで、保存会や地域との連携を密に図ることができている。校長と教頭も練習している姿や当日踊っている姿を参観し、参加者の頑張りを称賛している。

6 文化財伝承・活用の取組で工夫した点

学校と地域が連携協力しながら太鼓踊りを継承していくために、3年生の社会科単元「のこしたいもの、つたえたいもの」で、太鼓踊りを取り上げて学習する。昔から続く伝統行事や伝統芸能について調べる際に、学校応援団として登録していただいた太鼓踊り指導者を招聘し、太鼓踊りが身近にあることを実感させるようにしている。今後も継続して地域と連携して、太鼓踊りを伝承していけるように体制を整えていきたい。

また、全校朝会で太鼓踊りについて取り上げて、郷土芸能を継承する大切さについて話している。さらに郷土芸能の継承活動の様子等を学校だよりで保護者や地域住民へ積極的に広報している。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



〈城上小学校太鼓踊り風景〉



〈城上小学校太鼓踊り風景〉



〈児美神社奉納〉



〈旧吉川小学校太鼓踊り風景〉

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【4年生児童】

お兄さんやお姉さんに教えてもらって頑張って踊りました。練習は大変だったけれど、ぜひ、来年もやってみたいです。

【5年生児童】

高校生や中学生などお兄さんやお姉さんに丁寧に教えてもらい安心して踊ることができました。

【6年生児童】

昨年も踊っているけれど、やはり、太鼓踊りは楽しかったです。当日は、たくさんの方が参観してくれたので嬉しかったです。中学生になっても踊りたいです。

【保護者】

子供たちが地域の伝統を大切にすることを育めるといいなと思います。今年も我が子が「踊りたい。」と言ってくれ、嬉しい限りでした。今年は中学生の踊り手が入り、良かったです。もっと参加する子供たちが増えてくれることを願っています。

【教職員】

練習は夜間になるため、保護者の送り迎えが必要となります。参加を希望する子供たちは保護者の理解もあり、太鼓踊りに対してとても協力的です。ふるさとの郷土芸能である太鼓踊りを通して、生まれ育っている地域への誇りや愛着を子供に育みたいという親の願いが強いように思われます。

【保存会から】

昨年度から、城上コミュニティ協議会のメンバーに「城上太鼓踊り保存会」会長を位置付け、校区を挙げて太鼓踊りを伝承していこうとする機運がますます高まってきています。夜間の練習にもかかわらず踊り子として、今年も小学校の先生が練習に参加し、当日も踊るだけでなく子供への指導にも協力をいただき感謝しています。

【地域の方から】

- ・ 児美神社に例祭のときに奉納されるこの踊りが、城上小学校や旧吉川小学校で披露することができ、素晴らしく思います。また、堂々と踊る姿は、見ていてとても頼もしい限りです。
- ・ これまでの伝統芸能である太鼓踊りを絶やすことなく、いつまでも残せるように願っています。この子供たちが大人になっても、このふるさと城上のことを大切にしてくれることと思います。